

令和5年度 花き研究室 試験計画概要

中課題	小課題	細目課題	研究内容	新継年次別
リンドウの新品種の育成 (平25～)	紫系極早生品種の育成	—	早出し(6～7月出荷)の作型利用に適する、形質が優れ、生産性の高い紫系極早生品種を育成す	継続平25～
	ピンク系早生品種の育成	—	早出し(7月出荷)から旧盆の作型利用に適する優良な形質を有するピンク系品種を育成する。	継続平25～
	組織培養による増殖技術の検討	—	F1育成品種の採種用交配母本の維持および有望系統の組織培養苗増殖技術を確立する。	新規令4～
	種子生産技術の確立	—	F1育成品種の安定的な採種、種子供給にあたり採種技術および保存技術を確立する。	新規令5～
アジサイの新品種の育成 (平25～)	八重咲き品種の育成	—	「きらきら星」に次ぐ、花型や花色に希少性を有する品種を育成する。	継続平25～
	DNAマーカーを用いた育種の効率化	八重咲き性を識別するDNAマーカーの評価	八重咲き性に連鎖するDNAマーカーを利用して、八重咲き個体を選抜する。	継続平29～
		—	花色の発色を決定する色素関連成分の含有特性を利用した選抜手法を開発する。	新規令4～
気候変動に対応したトルコギキョウの高温対策技術の確立(令4～7)	開花時期に関わる環境要因の実態調査および検証	—	生育、開花に関わる環境要因(温湿度、日射量、CO2濃度、地温等)のモニタリングおよび解析を行う。	継続令4～5
	高温回避による開花調節技術の開発	—	定植時期や、夜冷処理、電照技術を検討することで、高温回避による開花調節技術を開発する。	継続令5～6
局所環境制御によるキクの安定生産技術開発(令5～7)	局所CO2の施用方法の検討	—	局所CO2の施用位置、濃度等について効果的な施用方法を検討する。	新規令5～6
	局所送風の施用方法の検討	—	夏季の高温による葉枯れ対策として局所送風の設置位置、時間等について検討する。	新規令5～6
生育調整剤・除草剤の適応性試験(昭38～)	花きの生育調整剤・除草剤の適応性検定	—	日本植物調節剤研究協会(日植調)の試験設計により適応性を調査する。	継続平19～